

## 会からのお知らせ

### ◎. 平成11年3月定例会「第2回東村山雑学講座」の案内

日時：3月6日（土） 15. 00～16. 30

場所：市民センター別館、第4会議室

演題：『ゲーテが愛した妻クリスティアーネ』

講師：重原 真知子さん、S30年文学部卒（会員）

エッカルト・クレスマン著『ゲーテが愛した妻クリスティアーネ』を翻訳された重原さんにゲーテの妻について、二人が交わした手紙や当時の史実などからいろいろなエピソードを交えて紹介して頂きます。また一昨年の秋にエッカルト・クレスマン氏をインタビューし、ゲーテやクリスティアーネの生活の場であったウ・アイマルを訪れたときの印象なども話して頂きます。

☆ 一般市民に公開です、奥様もお誘いのうえご参加下さい。

### ◎. 定例役員会

日時：3月9日（土） 13. 30～14. 00 発送準備（有志による）

14. 00～15. 00 役員会

場所：上記定例会と同じ

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください

### ◎. お祝

多田実さん（S31教育）次女素子様が2月24日（日）パークハイアット東京で挙式を挙げられました、心から幸せをお祈り致します。

なお、規定により会から祝電をお送りしました。

### ◎ 1月例会の第1回雑学講座『ビールに見る嗜好の変化と企業の栄枯盛衰』講演要旨

講師：藤澤 博恭氏（前アサヒビール副社長）

戦前「大日本ビール」は、関東で「恵比須」「サッポロ」関西で「アサヒ」というブランドで発売しており75%のシェアをもっていたが、戦後GHQの意向により分割され、関東では日本ビール、関西ではアサヒビールとなった。

関東で以前からあった銘柄は麒麟だけということや、当時高価だったビールを一般飲み屋に持ちこんで大衆の味としてなじませた努力などの理由により麒麟はシェアをのばし昭和60年には63%、アサヒは9.6%まで落ち込んでしまった。

その後、会社の存亡をかけ、たえず新しいことに挑戦してきた努力がスーパードライの成功に結びつき、昭和36年との比較でも2倍強、この10年間で20%のシェアアップでアサヒビールの奇跡とマスコミの話題となった。

これは良きリーダを得たということもあるが、絶え間無い新機軸への挑戦のたわものと言える。

また、味覚は保守的なもので、子供のときの味覚は一生を支配するとも言われているが、食事の質の変化の影響もあり、世代にとともに変化してきており、麒麟愛好者が高齢化し、若い人たちが淡麗・辛口を好むようになってきたことへの対応が麒麟にできなかったこともあると考えられる。

このように考えると、アサヒスーパードライもいつまでもこのまま伸び続けることも無いだろうし、むしろ将来の世代が飲んでくれる確立は零に近いと考えた方がよい。

したがってアサヒも常に人々のニーズ、ウォンツを研究し、10年先、20年先を考えた戦略を練って行かねばならないと思っている。

※ この講演のあと1月12日づけの各新聞に、昨年の出荷量でアサヒが44年ぶりに麒麟を抜いてビール業界の王座についたことが報道されました。また薄いというイメージから日本では成功しなかったライトビールを逆発想でビールの味がする水として1月31日発売の「ビアウォータ」の結果は興味のあるところです。（小亀）

## 同好会だより

本紙の「同好会だより」紙面をA4横書き2段組から、近い将来の編集方法の変更に備えてA4横書きの基本形に戻します。書式変更に伴い第24号以降の「同好会だより」のワープロ投稿は行当たり40～45文字・頁当たり35～40行程度の書式でお願いします。(塩 見)

### ♣ 麻雀同好会

#### ○ 麻雀大会のご案内

本年初の麻雀大会を以下の要領にておこないます。未参加の会員の方、是非奮ってご参加下さい。すでに参加された会員の方は全体の雰囲気、雀士各位のくせ等、分かったことと思います。考える時間はたっぷりあります。作戦を練って今年は打ち方を変えてみましょう。そう、変身した貴方が今度の優勝候補です。

#### 記

日 時 : 3月14日(日) 12時30分(昼食はすませて来て下さい)

場 所 : マージャンM 本町4-12 アメニティバレスB1 TEL: 397-5228

会 費 : 6千円 (競技代、賞品代、懇親会費用すべて含む)

申込締切: 3月 6日(土)

申 込 先: 小 野 (391-9523), 田 口 (395-4077)

無駄口: ゴルフ同好会ではホールインワンが出ました。今年正月井垣先生非常吉祥、真祝福!

当麻雀同好会では過去8回(練習2回を含む)で役満1回とはちと寂しい。

やはり手作りに励むか、お互いの人間性を尊重するか。以上。(田 口)

### ♣ 絵画同好会

この度、宮 絵画部会長のあとを継ぐこととなりました。主として水彩画を描いておりますので、水彩画を好まれる方と話し合い協力し合って絵作りを試みたいと思います。今年はその手始めに自然が豊富に残されている野火止用水沿いのスケッチを予定しております。初めて描く方を歓迎致しますのでご連絡下さい。(長 井)

東村山市美術連盟から「役員を引受けてくれ」との連絡がありました。当同好会の作品発表の場を確保しておく意図から古巣に戻りました。うまく活用して下さい。

冬はアトリエに籠もりがちですが、この時期になるとよく思い出すのが約15年前関越自動車道の水上I.C近くの上牧温泉に泊まりこみ、カンジキを履いて月夜野の農家を前景に雪の谷川岳南面を描き上野の公募展に出展し好結果を得たことで、3回連続受賞になるところから横槍が入り紹介者の当時のY一期会副理事長に迷惑がかからぬよう辞退したが、雪景色はいいものですよ。(塩 見)

## ゴルフ同好会

### ○ 第5回会長杯コンペのお知らせ

年が明けたと思っているうちにもう立春。凍りついた日本の景気にも、何か回復への胎動が感じられるこの頃です。

そんなことより、ゴルフがやりたいと心がはやっている皆さん！

お待ちかねの第5回会長杯コンペの開催日を、下記の予定で準備を進めます。

平成11年 4月17日(土) 又は 18日(日)

詳細は3月早々にお知らせしますので、いまからカレンダーに予定を入れて下さい。

そして、クラブと身体の手入れを始めて下さい。

幹事役 当間 昭治、木谷 肇

(2月分)

#### ◎知っ得ゴルフ

##### 11番ホール — アドバイス —

「ナイスショット！何番で打ったんですか？」「5番アイアンですよ。大きいかなと思ったけど・・・」同伴競技者に尋ねられて、思わず答えてしまったあなた。普段何の意図もなく交わしている会話ですが・・・。

JGAルール適用競技では、プレーヤーのプレー上の決断、クラブの選択またはストロークの方法に影響を与えるような助言又は示唆にあたるので、2打罰対象になりますよ。(ピン位置、バンカー位置等公知の事実OK)

与えた方も求めた方もともにペナルティの対象になります。さりげなくキャディバッグを盗み見すれば済む話。「私には棒の振り方聞いても良いのよ。パートナーだからお客さん。ちゃんとやらないと穴に入らないわよ。」

(井 垣)

## テニス同好会

第8回テニス同好会例会は、1月30日(土)あさひ銀行所沢テニスコートで開催され、江藤夫妻

・長井・三宅・市川夫妻・山下夫妻・戸田・当間夫妻と次女の計12名が参加しました。

多少風があったものの、体を動かしているうち寒さも忘れ、3面のコートを使用して午前10時から2時間気持ち良い時を過ごしました。

恒例のダブルスは江藤昌明・当間(次女)の最年長・最年少ペアが3勝0敗で圧勝、その後開かれた昼食会で、次回の予定が下記の様に決まりました。

日 時 2月20日(土)午前10時(現地集合)

場 所 あさひ銀行所沢テニスコート 所沢市けやき台 1-1-1 TEL 042-922-4822

(最近メンバーが固定してきました。新人の参加を歓迎します。)

## 編集後記

### ○ 文芸欄投稿規定

文芸欄の投稿規定をニュース10号で披露しましたが、その後多数会員の方の新規加入があり投稿原稿が多頁に亘る場面もありました。そのため一部に混乱がありニュース発行に苦しい場面がありました。会員の新規加入は会にとって悦ばしいことでありそのための労力はやむを得ないこととされます。ここで改めて文芸欄の投稿規定をお知らせします。紙面の大きさはB5です。頁数は一頁。

文章に責任を持つため匿名はご遠慮下さい。これらを守って頂ければ投稿内容は自由です。(塩 見)

思い出の地 (5)

塩見之一

六、続 日光本白根

奥日光から尾瀬にかけての高地は降雨・降雪が多い所で、登山者は雨具の用意が必須となる。この頃の合羽と称する雨具はビニールやナイロンなど科学・文化の恩恵を受ける以前の代物で雨を含むとズッシリと重く始末の悪いものであったが、野宿の時などは保温性があり畳んでリュックに縛り付け携帯した。その合羽を身に付けるまでにずぶ濡れになり閉口したが、合羽を頭から被り前白根と奥白根の鞍部にある小火口湖の南側を回り奥白根の南西斜面にある筈の避難小屋を探して走り回った。S君は茫然とした感じで雨に濡れていた。「これはいかん」と覚悟を決めて雨に煙って確かめにくい中で小屋を捜し、荷を降ろして雨の中にとって返しS君を正気付けようとうと殴りつけ小屋に引きずって行った。「どうしたんだ。風邪をひいて山の上で動けなくなるぞ。」

「痛いじゃないか。」

「痛いぐらい我慢しろ。」

などのやりとりがあり、火をおこしてやっと人心地がついた。

小屋の天井に届くほど火を強めて衣服の乾燥を始めた。

S君の悩みはお定まりの片想いで、相手はあらためて聞くまでもなくT教授の後輩のU助教授の研究室の助手の美人の誉れが高いKさんで、廊下ですれ違った時などのS君の反応は隠しようが無く評判になっていた。

Kさんは当時街で見かけることが多かった短剣を吊った長身の海軍士官がお似合いの上背のあるお嬢さんで他人から見れば「無理だ」のひとと言で済んでしまうが、S君の真剣さに皆忠告をためらっていた。

「俺がいつか確かめよう。」と言うことでその場を収めたが、食料不足の時代の雨水を集めて炊いた芋粥とめざしの夕食も結構それなりに美味であった。

翌早朝から白根山北方の菅沼を目標に、夏季の落雷による無数の倒木によって閉鎖状態の下山道を辿った。曇天であったが丸沼、菅沼上空は水面の上昇気流で明るく目標となつて助かった。太い倒木の下を潜り、乗越える下山の苦労にも増して私の心にのしかかったのはS君の思いをどうKさんに告げるかで、その時は登り下りともに誰ひとり人に会わなかったことに気付かなかった。(続く)